

10807皮革・同製品製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2018	3	10 ～ 11	工場内2Fにある段差（上下移動できるもの）で、革を積んであった台が段差から落下しそうになったので、あわててその段差から飛び降りて台を止めようとしたが、飛び降りた時点でこけて骨折した。	65	3	418	10 ～ 29 人
2	2018	4	3 ～ 4	出張先にて不具合の選別作業を実施中、休憩を取るために休憩所横の駐車場に停めていた車へ飲み物を取りに行った。その後、車の後方から休憩所へ行こうとした際に、外灯などがなく暗かったため、深さ1mの側溝に気が付かず落下し、胸を強打した。	49	1	418	100 ～ 299 人
3	2018	4	7 ～ 8	倉庫内で荷物を運んでいる際、雨で床がぬれていたために、足を滑らせて、床（コンクリート）に頭と腰を強打した。	66	2	416	10 ～ 29 人
4	2018	8	10 ～ 11	工場内でのマッケイ中底組み立て作業の癖付工程で、癖付機に左手の人差し指と親指を挟んだものである。	63	7	154	10 ～ 29 人
5	2018	8	0 ～ 1	窓を開けようと扉を右へスライドさせたとき、窓の枠と窓に面して置いてあった工具が落下し、頭部に当たった。	46	4	379	10 ～ 29 人

6	2018	9	14 ～ 15	版押し作業の際、プレス降下スイッチを押したが降下せず、油圧スイッチを入れた途端にプレス部が降下した、そのときに左手指が挟まり、上下スイッチを押してもプレス部が上昇しなかったため、火傷を負った。	62	7	169	50 ～ 99 人
7	2018	9	14 ～ 15	版押し作業の際、プレス降下スイッチを押したが降下せず、油圧スイッチを入れた途端にプレス部が降下した、そのときに左手指が挟まり、上下スイッチを押してもプレス部が上昇しなかったため、火傷を負った。	62	7	169	50 ～ 99 人
8	2018	9	14 ～ 15	版押し作業の際、プレス降下スイッチを押したが降下せず、油圧スイッチを入れた途端にプレス部が降下した、そのときに左手指が挟まり、上下スイッチを押してもプレス部が上昇しなかったため、火傷を負った。	62	7	169	50 ～ 99 人
9	2018	9	14 ～ 15	版押し作業の際、プレス降下スイッチを押したが降下せず、油圧スイッチを入れた途端にプレス部が降下した、そのときに左手指が挟まり、上下スイッチを押してもプレス部が上昇しなかったため、火傷を負った。	62	7	169	50 ～ 99 人
10	2018	11	17 ～ 18	プレス機を使用して靴の加工中、誤ってプレス機で左手親指を挟んだ。	32	7	154	1～ 9人
11	2018	12	8 ～ 9	上に乗って拭き掃除をしていた台が傾き、飛び降りたときの衝撃で足の打撲と左足の一部にひびが入る負傷を負った。	64	3	417	30 ～ 49 人
12	2018	12	15 ～ 16	工場内、スキー靴のヒールパーツをビス止めする作業中に、ビス止め機械を動作させるフットスイッチに触れ、機械が動作し、右手甲にネジが締められた。	64	7	169	1～ 9人

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。